



タフバリア[®] フロアブル

殺虫剤

芝用

医薬用外劇物

コガネムシ、ケラ、
チガヤシロオカイガラムシ
防除の決定版。





タフバリア[®]
フロアブル

殺虫剤

芝用

特 長

● 高い殺虫効果

- 少ない有効成分量でコガネムシ類の孵化直後から若齢幼虫まで高い殺虫効果を示します。接触毒と食毒効果がありますが、食毒効果のほうが高いと考えられています。
- シバオサゾウムシ・チガヤシロオカイガラムシにも高い殺虫効果があります。

● 優れた残効性(約3ヶ月)

残効期間が長く、散布回数の軽減が可能です。また、適度な土壌吸着があるので、下方への流亡が少ない薬剤です。

● 作業の省力化が可能

散布水量を0.1ℓ/㎡まで減らすことができます。(コガネムシ類・シバオサゾウムシ・ケラ)

上手な使い方

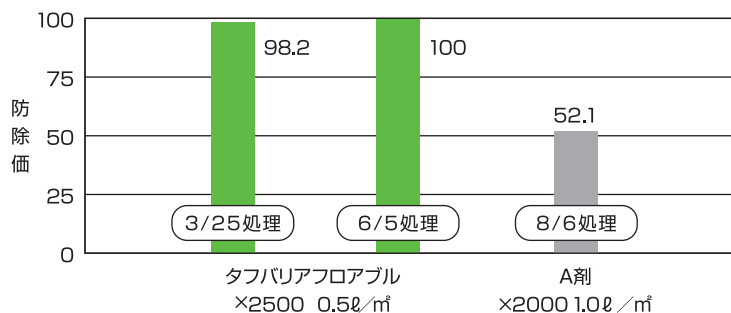
春に処理して約3ヶ月の残効 活発な幼虫の摂食行動を抑制し、芝生を守ります。

*気候、土壌、管理方法によっては異なる場合があります。

■ タフバリアフロアブルの散布適期

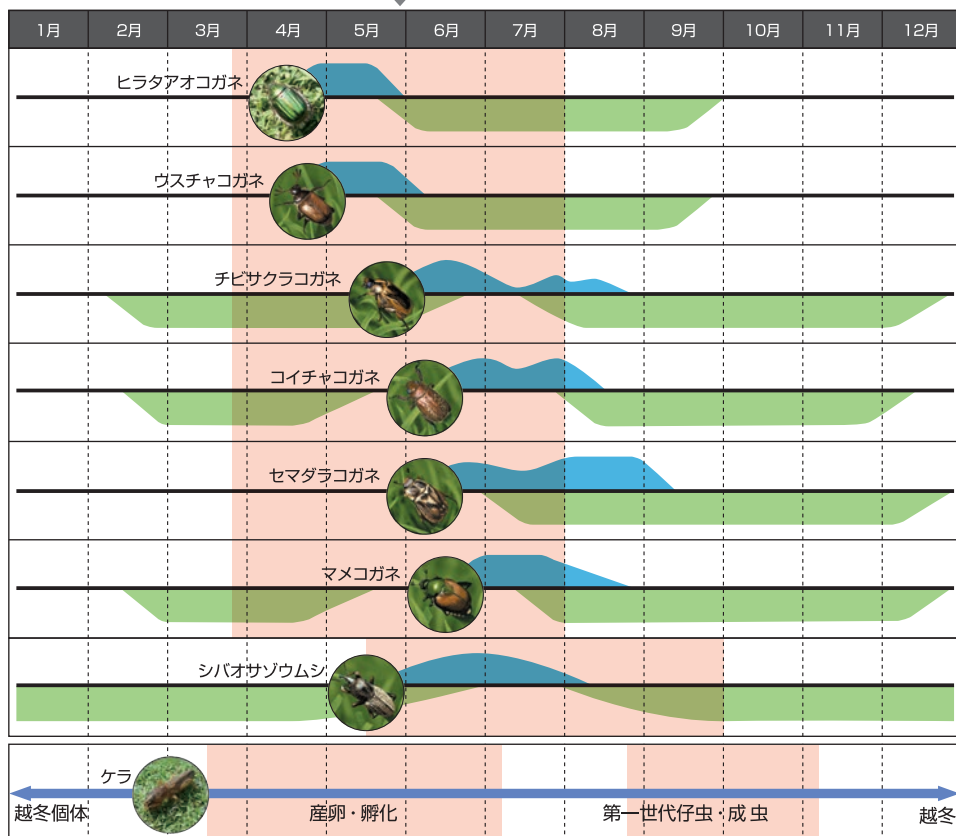
予防的に早めの散布をすることによって、
優れた効果を発揮します。

試験場所：理研グリーン研究所内コウライシバ圃場
調査日：2002年8月20日
対象害虫：オオサカスジコガネおよびチビサクラコガネ幼虫



■ 発生と防除時期

タフバリアの散布適期



コガネムシ幼虫



シバオサゾウムシ幼虫

■ 成虫 ■ 幼虫

※さまざまなコガネムシに使用できます。
※この表は関東～東海地方の標準的な幼虫の発生消長を示したもので、地域、天候等により発生時期は前後します。

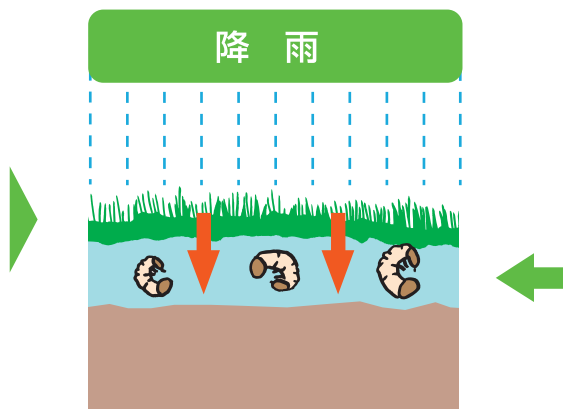
早めの散布で長く効く

コガネムシに対する効果

芝の根の周辺に有効成分の処理層が形成され、長く安定した効果が期待できます。



瞬化後、徐々に処理層まで移動。



地下20cmまで処理層が形成され安定した効果を発揮。

処理後、降雨や灌水によって
有効成分が土壤中に浸透

20cm程度の有効成分の 処理層を形成

チガヤシロオカイガラムシに対する効果



チガヤシロオカイガラムシによる被害(写真-1)

春にコウライシバ・ノシバにしずみ症状が発生し、殺菌剤の効果が無い場合は、特にチガヤシロオカイガラムシの発生を疑う必要があります(写真-1)。

ホールカップで掘り取って、茎の分岐点に黒ずんだ小さな繭状の（初期は全体が白いが、排泄物等で黒く汚れてくる）ものが見られたら、これがチガヤシロオカイガラムシの成虫（写真-2）です。

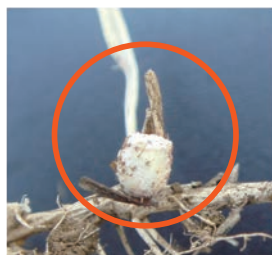
成虫はろう物質の殻に覆われていて薬剤効果が期待しにくいので、防除は幼虫の発生初期に行います。



無処理区



タフバリア処理区

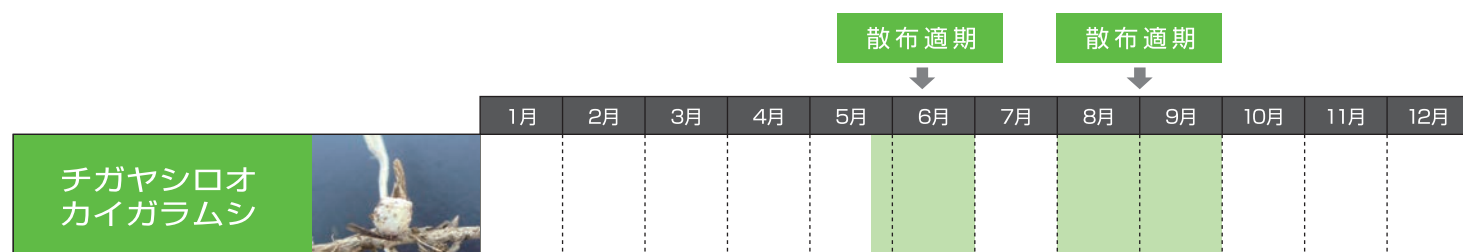


白い殻の
チガヤシロオカイガラムシ成虫



殻を一部はいた
チガヤシロオカイガラムシ成虫
(写真-2)

幼虫の発生は5月下旬～6月と8～9月頃の2回、
この時期が散布適期です。





タフバリア®
フロアブル

殺虫剤
芝用

農 林 水 産 省 登 録
第 2 0 6 6 4 号

適用病害及び使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む 農薬の総使用回数
芝	コガネムシ類幼虫	2,500倍	0.5ℓ/㎡	成虫産卵時期～ 幼虫発生初期	2回以内	散布	2回以内
		1,000倍	0.2ℓ/㎡				
		500倍	0.1ℓ/㎡				
	シバオサゾウムシ	2,500倍	0.5ℓ/㎡	発生初期			
		1,000倍	0.2ℓ/㎡				
		500倍	0.1ℓ/㎡				
	チガヤシロオカイガラムシ幼虫	2,500倍	0.5ℓ/㎡	発生前～発生初期		発生初期	
	ケラ						
つつじ類	ツツジグンバイ	5,000倍	1.0ℓ/㎡	発生前	株元灌注	5回以内(株元灌注は2回以内、 土壌混和は2回以内)	
かえで	モジニタイケアブラムシ					2回以内	

有効成分と性状

種 類 名	イミダクロプリド水和剤
商 品 名	タフバリアフロアブル
有効成分	イミダクロプリド 20.0%
性 状	白色水和性粘稠懸濁液体
荷 姿	400mℓ×10本

人畜・魚介類に対する安全性製剤)

人 畜 毒 性 (急 性) 劇 物	経口	ラット(♂)	LD ₅₀ 3,200mg/kg
		ラット(♀)	LD ₅₀ 4,100mg/kg
	経皮	ラット(♂♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
	眼刺激性	ウサギ	刺激性なし
水産動植物に 対する影響	皮膚感受性	モルモット	皮膚感受性なし
	コ イ		LC ₅₀ 579mg/ℓ (96hr)
	ミジンコ		EC ₅₀ 240mg/ℓ (48hr)
	藻 類		ErC ₅₀ 251mg/ℓ (0-72hr)

効果・薬害等の注意事項

- 使用前に容器をよく振ってください。
- 使用量、使用時期、使用方法を守ってください。
- 本剤を適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してください。(病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。)

貯蔵上の注意事項

- 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷蔵・乾燥した場所に保管してください。保管は鍵をかけ、盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

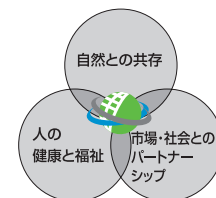
安全使用上の注意事項

- 蚕に対して長期間毒性があるので、絶対に桑葉にかからないようにしてください。
- ミツバチに影響を及ぼす恐れがあるので注意してください。
- 散布時は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣等を着用してください。作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
- 医薬用外劇物、取り扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の担当を受けさせてください。

- 使用中に異常を感じた場合には、直ちに医師の担当を受けてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や使用に関係ない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努めてください。
- 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収してください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- 飲めません。
- 有効年以内に使用してください。
- 体調の悪い時、妊娠中、飲酒後等は取扱いおよび作業をしないでください。



バイエルクロップサイエンスでは、将来の世代のニーズを損なうことなく
現代のニーズを満たす、「持続可能な発展」のため、Protecting Tomorrow ... Todayをモットーに
① 人の健康と福祉 ② 自然との共存 ③ 市場・社会とのパートナーシップ
を柱として様々な活動を実施しています。



- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



Bayer

バイエル クロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業部

〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5
【お客様相談室】0120-575-078

ホームページ

www.environmentalscience.bayer.jp

お問い合わせ先